埼空連　技術・審判

２０２２－０３

埼玉県空手道連盟

郡市連盟会長各位

各市郡連盟事務担当者各位

令和４年４月１３日

埼玉県空手道連盟理事長 斎藤 一雄

技術・審判委員会委員長 豊田喜美子

県大会での新ルール導入について

標記の件につきまして、県大会において導入を決定しましたのでお知らせします。

新ルールの導入内容は以下の２点です。

①「わかれて」「つづけて」

②　不活動

先日行われた全国組手審判員審査会・講習会での講義では、「ジュニアのスキンタッチがポイントになる」については、国内で採用するか、まだ不確定ということでした。こちらについては、国内導入が決まった時点で全空連より通知があります。今大会では導入しません。

　新ルールについては、令和３年度第４回の講習会で導入が見込まれるアナウンスをし、令和４年度第１回講習会では、新ルールの講義、実技講習を行いました。令和４年度第２回講習会においても、新ルールの講義及び説明を行います。

審判員だけでなく、指導者・選手へ理解させることが最も重要です。選手が不利益を被ることがないように、郡市連盟下において、周知徹底をお願いいたします。

全空連からの説明資料を添付いたします。